

第14回かながわ街路樹フォトコンテスト受賞者

賞の種類	氏名	題名	撮影場所	撮影年月日
最優秀賞	清水 進	新緑映えて	海老名市（エビーロード）	2021. 04. 01
優秀賞	斎藤 文夫	深い霞	藤沢市遠藤	2020. 05. 05
入 選	野村 昌弘	車中からお花見	秦野市・はだの桜みち	2021. 03. 29
入 選	平野 昌子	窓辺より	横浜 ホテルニューグランド	2020. 11. 18
入 選	本間 浩一	満開 間近	小田原市 お堀端通り	2021. 03. 26
入 選	伊藤 良一	学園への道	平塚市南金目	2021. 04. 12
入 選	芹野 ゆかり	うららかな春	本牧通り	2021. 03. 27
佳 作	林 鈴乃	色とりどりのもみじ	新百合山手中央通り	2020. 11. 07
佳 作	遠藤 昌彦	桜の花と菜の花と	小田原市	2021. 03. 30
佳 作	齊藤 芳正	晩秋の桜並木	横須賀市	2020. 11. 06
佳 作	津金 扶実江	窓も緑	横浜公園前	2021. 04. 01
佳 作	小西 直昭	心ウキウキ満開桜	山手本通り元町公園前	2021. 03. 27
佳 作	宝田 利則	春の陽光	日本大通り	2021. 04. 08
佳 作	諸星 重明	朝陽浴びる新緑	大井町金手（ひょうたん池付近の道路R711）	2021. 04. 09
佳 作	齊藤 啓裕	桜街道	山北駅周辺	2021. 03. 31
佳 作	下川 勝利	ワルツを踊る	小田原 けやき通り	2020. 11. 02
佳 作	池田 光夫	こもれび	日本大通り	2021. 11. 30

特別賞

神奈川県 知事賞	松井 正	ハマ通りに春風渡る	山下公園通り	2021. 04. 03
神奈川県議会 議長賞	小高 紘佑	彩る街路	中区本牧原イスパニア通り	2020. 11. 04
街路樹剪定 優秀賞	—	—	—	—

第14回 かながわ街路樹フォトコンテストの総評

街路樹たちはコロナ渦を受けることなく、四季の移ろいを届けてきてくれています。

とりわけ、横浜の山下公園前通り、日本大通りの銀杏並木は戦火を潜り抜け、横浜の発展をじっと見続けてきています。それは街路樹を陰で支えてきた人たちがいたからこそのおかげです。感謝です。

街路樹など全く気にしなかった私が存在と季節感を「身に染みて感じた」ことが半世紀ほど前ありました。実は新聞社の写真部に配属され、研修を終えると、当時の写真部長が「季節を伝える写真を撮ってこい」の命令。思案していると先輩カメラマンが「銀杏並木だ。青々してきれいだぞ」と助言してくれた。狙いは日本大通り。撮影した結果は”絵になっていない。季節感がない”との厳しい講評。それから、意地になって銀杏並木と向き合いました。晩秋、散ったイチョウの葉と帰宅を急ぐサラリーマンをローアングルで撮影したのが認められ、ようやく新聞の一面デビューを果たしました。

そして時を経て、偶然の出会いのように街路樹フォトコンの審査のお手伝いをするようになりました。それだけに、応募作品の一枚一枚から作者の撮影の苦労が伝わってきました。今回は完成度が高い写真が審査会場に並びました。嬉しい限りです。

(元・神奈川新聞社写真部長 大河原 雅彦)

審査評

最優秀賞「新緑映えて」(撮影場所：海老名市(エビーロード) 清水 進



○満場一致で選ばれました。まるでデザイン画のような作品です。ビルの壁面をたっぷり利用し、街路樹を納めています。歩道の人物のおかげでスケールがわかります。真正面からズバリ狙ったのが良かった。光線の状態もベスト。

優秀賞「深い霞」（撮影場所：藤沢市遠藤） 斎藤 文夫



○霧がかかると、風景がぐんと変わってくる様子をキャッチした作品。アングルも良く、好天時に撮影すれば単なる美しい並木をドラマチックにしています。走る車が効果的です。

入選「車中からお花見」（撮影場所：秦野市・はだの桜みち） 野村 昌弘



○いつも見ている、車のバックミラーが映し出してくれた風景に、新鮮さを感じてシャッターを押したのでしょう。満開の桜に渋滞する車の列。バックミラーと車体を画面に収めたことで、臨場感がでました。

入選「窓辺より」（撮影場所：横浜 ホテルニューグランド） 平野 昌子



○窓越しに見える、黄金色の銀杏。ホテルニューグランドの待合室から撮影されたものでしょう。日差しが当たり、これでもかと輝く銀杏を、窓を額縁のようにした画面構成は見事。画面右の人物が見入っている様子が伝わってきます。

入選「満開 間近」(撮影場所：小田原市 お堀端通り) 本間 浩一



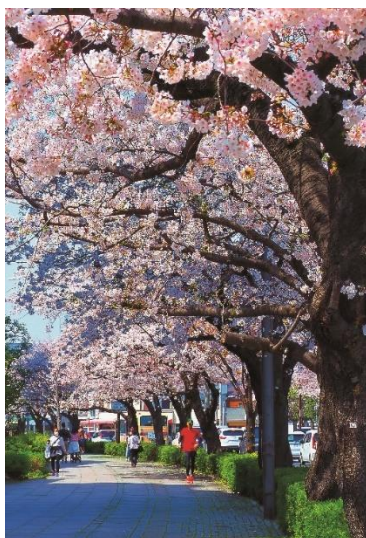
○咲き始めた小田原城址公園を取り巻く桜は撮影スポットとして名所。毎回、数多くの作品が寄せられますが、桜並木を背景に記念写真を撮る家族の豊かな表情が、この作品の見どころ。青空が広がる天気も味方してくれたが、撮影者のシャッターチャンスと瞬時決めたであろう構図が良かった。

入選「学園への道」(撮影場所：平塚市南金目) 伊藤 良一



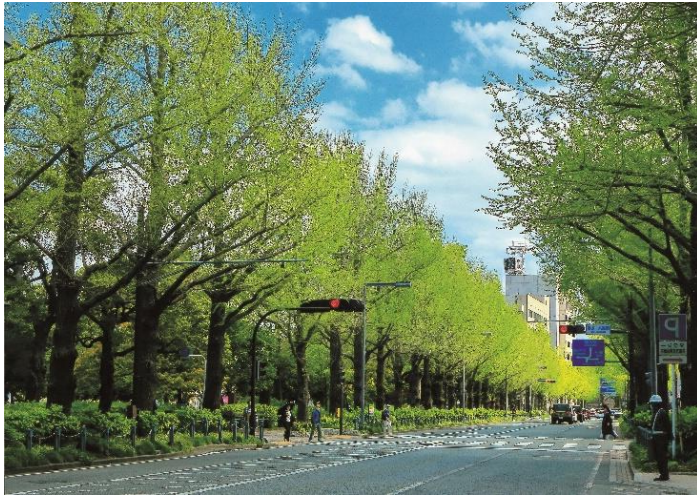
○道路にくっきりと映し出された街路樹の影がこの作品の主演。きれいなほど並んでいますね。そして自転車的人是なわき役。もちろん、新緑があふれる街路樹も必要不可欠。撮影のタイミングに苦労したことでしょう。

入選「うららかな春」(撮影場所：本牧通り) 芹野 ゆかり



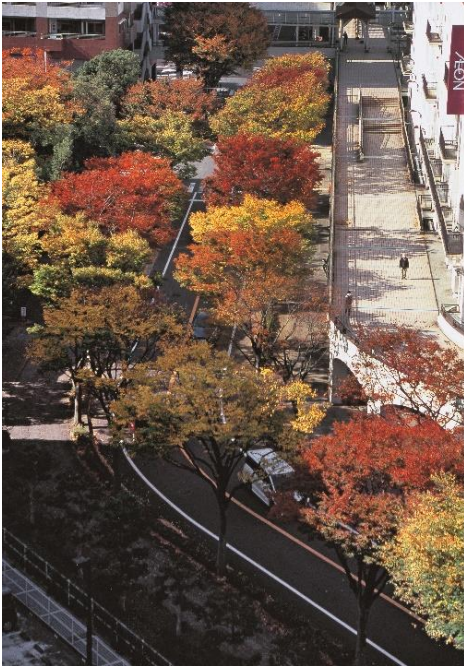
○横浜の桜の名所の一つ、本牧通りの桜並木。満開になった桜をしっかりと撮影しています。太い幹を画面に収め、花びらの咲き具合がしっかりとわかるほどに捉えています。ランニングする赤いジョギングスーツの男性の姿も見逃せません。画の木陰の部分があることで、さくらの美しさが際立ちました。

神奈川県知事賞「ハマ通りに春風渡る」（撮影場所：山下公園通り） 松井 正



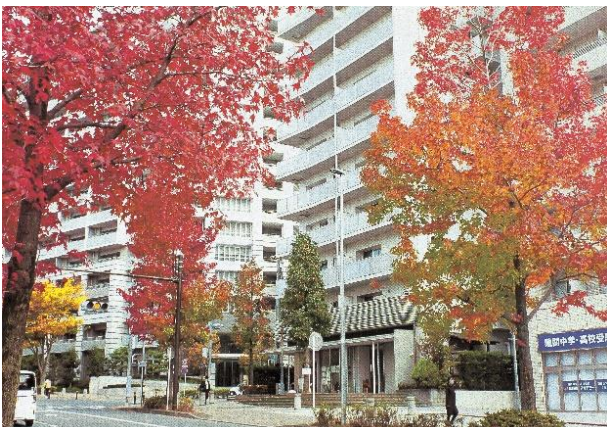
○新緑が光る山下公園前通りの銀杏並木を過不足ないアングルで捉えています。青空と白い雲が画面にすがすがしさを加えてくれています。また、赤信号がとても印象的です。

神奈川県議会議長賞「彩る街路」（撮影場所：中区本牧原イスパニア通り） 小高 紘佑



○様々な色合いで秋を伝える街路樹を見事に画面に収めています。撮影時間、天候を十分に狙い定めて撮影したのでしょう。まず、画面下のビルの影があることで街路樹が際立っています。歩く人物が街路樹の身近さを伝えています。

佳作「色とりどりのもみじ」（撮影場所：新百合山手中央通り） 林 鈴乃



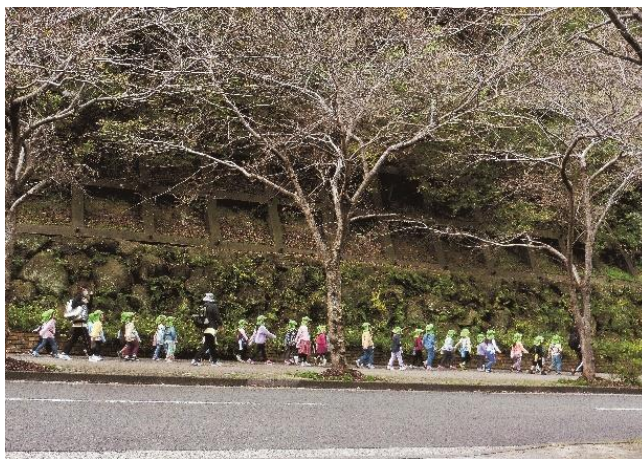
○真っ白い集合住宅を背景にしたことで、秋を迎えた街路樹たちの姿がくっきりと浮かび上がっています。

佳作「桜の花と菜の花と」（撮影場所：小田原市） 遠藤 昌彦



○満開の桜に満開のの菜の花。春爛漫を映し出しています。画面左下の撮影する親子連れ。「さあ、こっちむいて」の声が聞こえてきそうです。

佳作「晩秋の桜並木」（撮影場所：横須賀市） 齊藤 芳正



○保育士さんに連れられて散歩する園児たち。街路樹はすっかり葉を落としています。園児たちのグリーン色の帽子が季節を先取りしていますね。

佳作「窓も緑」（撮影場所：横浜公園前） 津金 扶実江



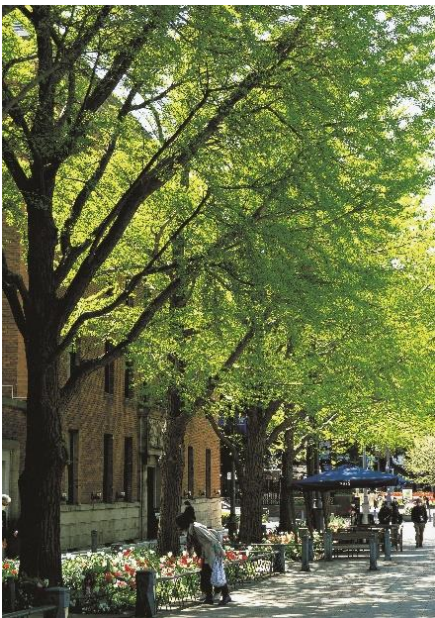
○新緑を見事に映し出している、ビルの壁面の窓ガラス。その本体の街路樹が画面左に。太い幹をしっかりと画面に収めたことで、その存在感を伝えています。

佳作「心ウキウキ満開桜」（撮影場所：山手本通り元町公園前） 小西 直昭



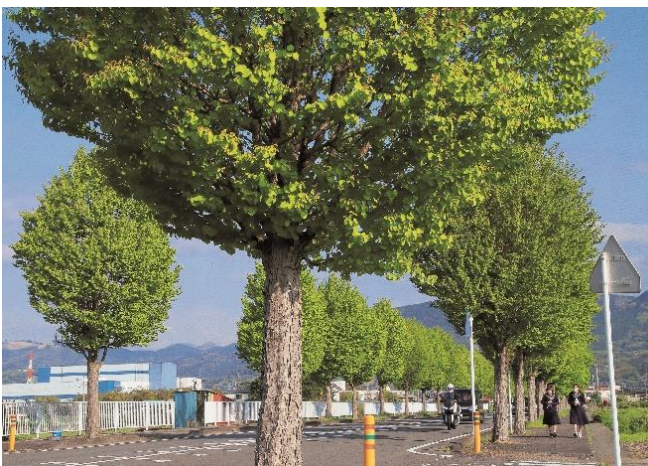
○横浜の山手の「元町公園前」バス停の前には桜がどんと腰を構えてます。格好の被写体とあって多くの人がカメラをむけます。その様子をうまく収めています。

佳作「春の陽光」（撮影場所：日本大通り） 宝田 利則



○日本大通りの銀杏並木。トップライトのおかげで、樹木に陰影ができて奥行のある作品になりました植え込みのチューリップが色彩の演出をしています。

佳作「朝陽浴びる新緑」（撮影場所：大井町金手） 諸星 重明



○構図が良いですね。画面の中央に街路樹をどんと置いて、背景には連なる樹木。二人の女子高生は名わき役になっています。

佳作「桜街道」（撮影場所：山北駅周辺） 齊藤 啓裕



○鉄道ファンの春の撮影場所の一つが、御殿場線山北駅近くの桜並木。シーズンともなれば撮影場所の古線橋がカメラで埋まる。晴天、曇り、雨で風景の表情が変わるのがたのしい場所だ。

佳作「ワルツを踊る」（撮影場所：小田原 けやき通り） 下川 勝利



○落ち葉が風に舞う。なかなか撮れないショットですね。光線、シャッターチャンス逃さなかったのは秀逸ですが、残念なのは歩道の車止めの存在でした。

佳作「こもれび」（撮影場所：日本大通り） 池田 光夫



○まっ黄色に染めあがった葉を輝かせる西日。定番の日本大通りですが、幹の脇から差し込む一筋の光を上手くキャッチ。太い幹の枝ぶりが歴史を感じさせます。